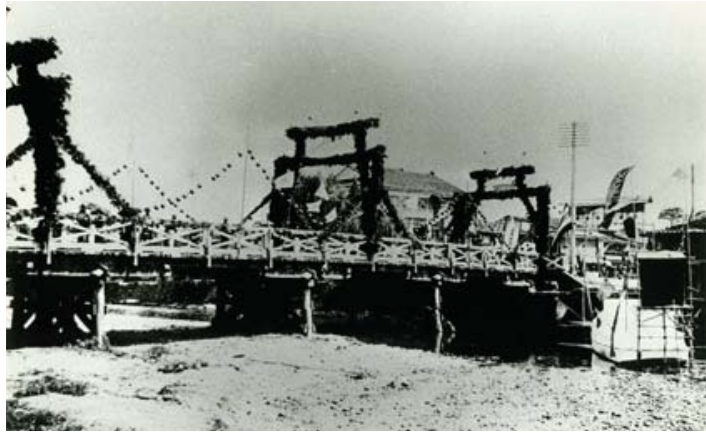


日清戦争凱旋祭



明治28年

提供：国土交通省

横山隆平葬儀



明治36年

提供：国土交通省

渡り初め式(浅野川大橋)



明治36年8月16日

提供：国土交通省

犀川大橋上を日露戦争に出征する第9師団将兵がゆく



明治37年

提供：国土交通省

片町付近



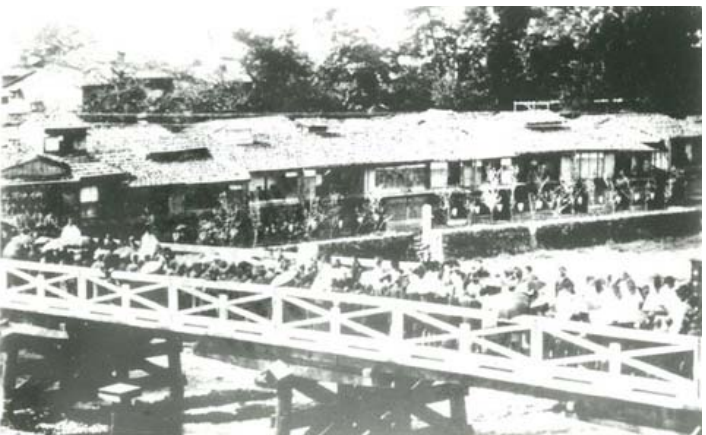
提供：国土交通省

片町付近



提供：国土交通省

木橋



提供：国土交通省

最初の永久橋



大正8年3月

提供：国土交通省

渡り初め式(片町側より望む)



大正8年3月30日

提供：国土交通省



電車通り(野町側)



提供：国土交通省

犀川大橋から片町を見る



提供：国土交通省

市内電車開通



大正8年11月

提供：国土交通省

片町側より望む



大正9年

提供：草野氏

野町側より望む



大正9年

提供：草野氏

流失寸前



大正11年8月3日

提供：国土交通省

流失



大正11年8月3日

提供：国土交通省

流失後



大正11年8月

提供：草野氏

犀川大橋の上流側状況



大正11年8月

提供：草野氏



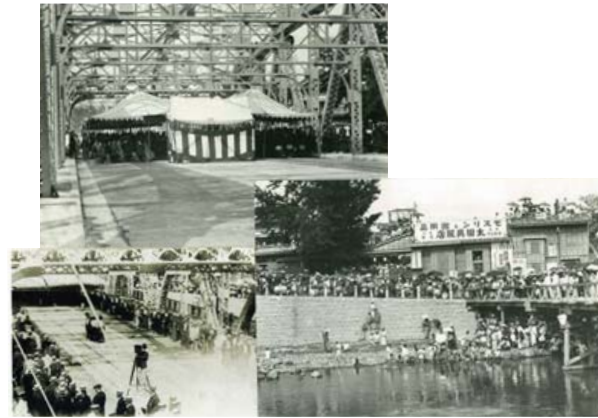
建設中(左) 渡り初め風景(右)



左:大正12年 右:大正13年

提供:草野氏

渡り初め風景(左上)



左上:大正13年

提供:草野氏

渡り初め風景(片町側より望む)



大正13年

提供:国土交通省

渡り初め式



開通の式新橋大川犀 (野 命)

大正13年7月10日

提供:国土交通省

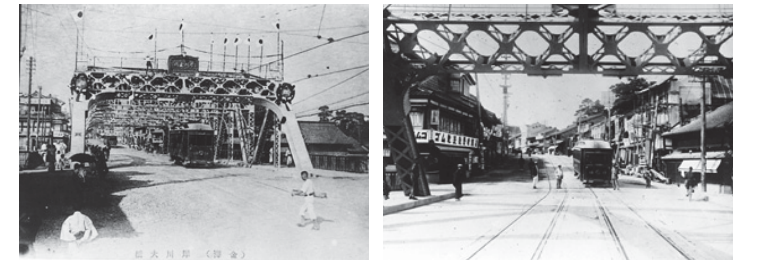
渡り初め式



大正13年

提供:国土交通省

市内電車



提供:国土交通省

犀川大橋竣工直後(手前:千日町、奥:片町方面)



大正13年8月

提供:草野氏

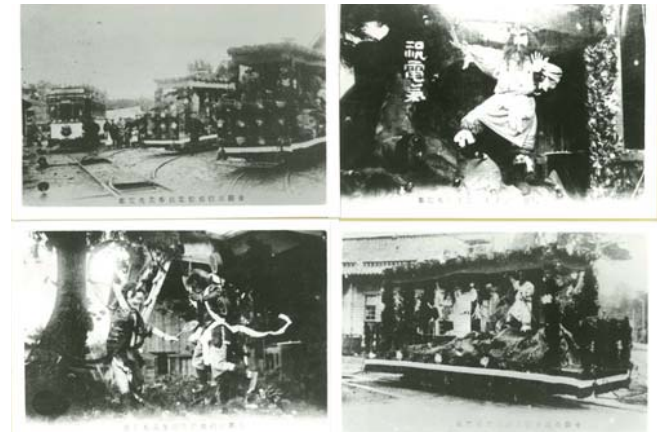
蛤坂より犀川大橋、片町方面を望む



昭和6年

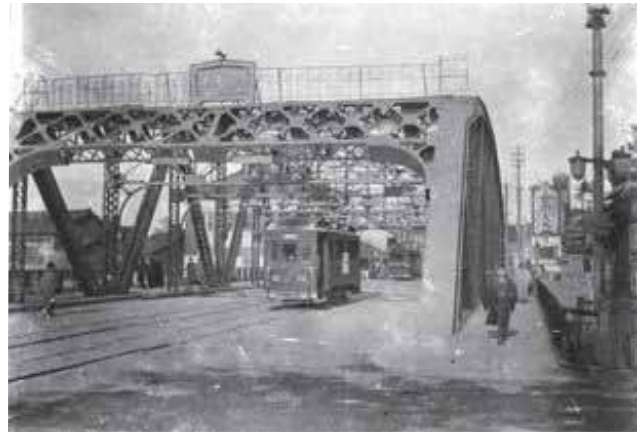
提供:草野氏

イベント状況



提供:国土交通省

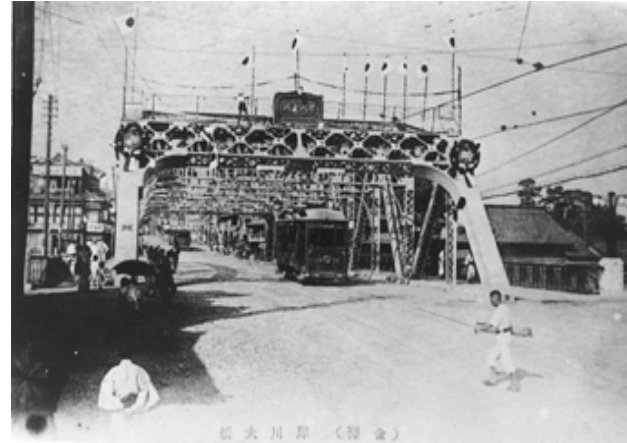




亡父が撮りためたネガの中から見つけたので、応募しました。

提供：中山 和久

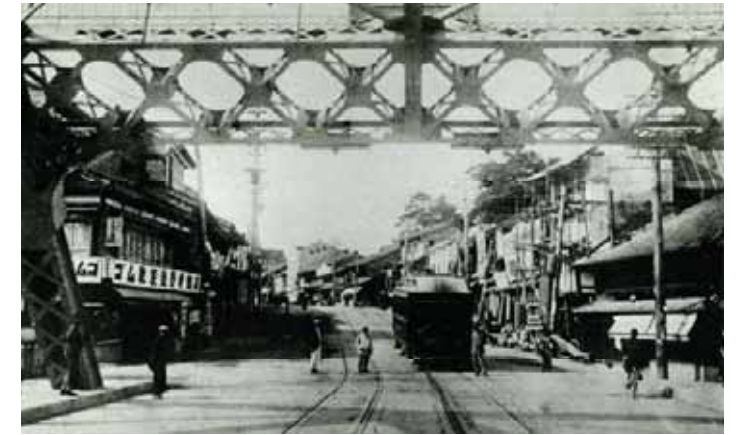
### 市内電車



従大川岸（鎌倉）

提供：国土交通省

### 市内電車



提供：国土交通省



昭和8～19年頃

私の祖父（1902年～1944年）がベロイコンタで撮影したと思われるネガをスキャンしました。祖父は河北郡森本村字青原で、昭和初期に森本駅から深谷温泉行のバスを運行していました。写真が好きで、各地を回って撮ったと思われるネガの中にあつたものです。

提供：中崎 達也

### 荷車のある風景



昭和28年

提供：伊野氏

### 青草市場へ行く荷車



提供：伊野氏



昭和30年

昭和30年、金沢大学教育学部の松任往復のロードレースで広小路方面から片町に向かっている写真を父が撮ったものです。当時は車も少なく市電の路線もあり懐かしいです。（余談ですが、三人並ぶ真ん中が私です）

提供：新道 茂樹

### 1964年 東京オリンピック聖火リレー



昭和39年10月1日

母の実家は野町にありました。道路拡張のために立ち退きとなり、アルバムが出てきた中に東京オリンピックの頃の古写真がありました。聖火リレーが自宅の前を通った時の写真のようです。同じページには同日の都市河川で洗濯をする人の様子が載っていました。

提供：佐友梨

### 犀川大橋にかかわる思い出の一枚。



大橋の上は自転車通り、車の姿は見えません。クルマは少なかったのです。当時は駅前あたりはバスタクシーも見えましたが、それでもめずらしかつたような気がします。

提供：川岸 龍



市内電車



橋大川岸 (所名澤金)

提供：国土交通省

市内電車



昭和40年

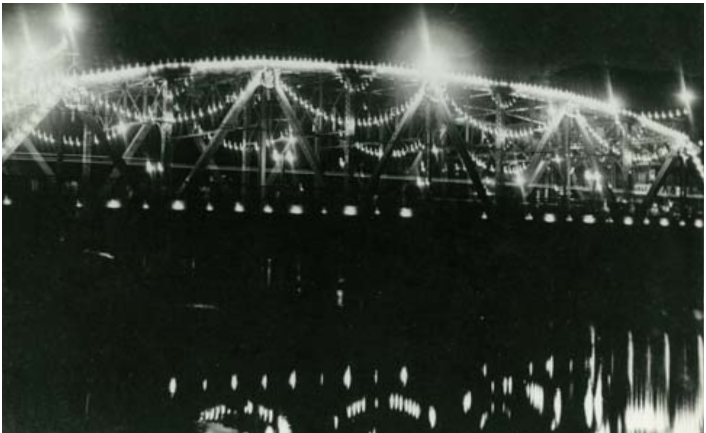
提供：国土交通省

装飾状況



提供：草野氏

市内電車の最終時



昭和42年

提供：草野氏

白系クリーム色(片町側より望む)



提供：国土交通省

白系クリーム色(野町側より望む)



提供：国土交通省

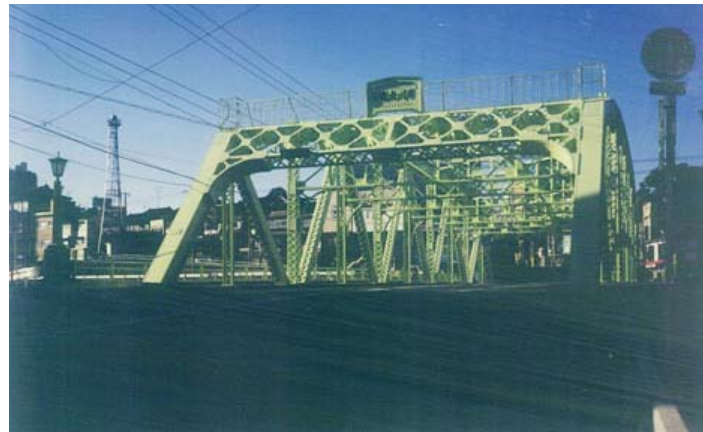
新聞広告(黄緑系にした時のアンケート)



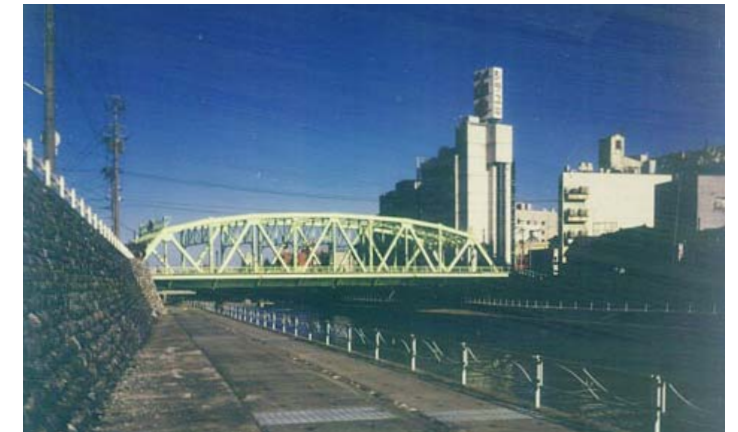
昭和59年8月

提供：国土交通省

黄緑色(片町側より望む)



黄緑色(上流側より望む)





黄緑色(野町側より望む)



黄緑色(橋名板)



混雑状況(野町側より望む)



提供:国土交通省

サイガワあかりテラス



平成29年9月9日  
あかりテラス開催中に撮影しました。  
イルミネーションに引き立てられ、いつもよりさらに綺麗に映る川原大橋を撮影できて楽しかったです。

提供:鶴見 絵里沙

サイガワあかりテラス



平成29年9月9日  
あかりテラス開催中に撮影しました。  
イルミネーションに引き立てられ、いつもよりさらに綺麗に映る川原大橋を撮影できて楽しかったです。

提供:鶴見 絵里沙

大動脈



平成30年1月19日  
夜中でも多くの車が行きかう川原大橋。  
交通だけでなく、金沢の暮らしや産業も支えていると思います。

提供:坂田 拓弥

夜のおさんぽ



平成29年8月20日  
「サイガワあかりテラス」のイルミネーション見に、子供たちと夜のおさんぽへ行った際の一枚。  
川原大橋をバックに決めポーズ(笑)

提供:本澤 太志

白い大橋



平成30年2月8日  
大雪で、白くなった大橋です。私のイメージの大橋は赤ですが、現在の緑もいいですね。

提供:林 賢一

川原大橋(絵画)



提供:坂井 茂



犀川リバーカフェ



平成29年7月

提供：リバーカフェ

**犀川大橋 ~今年で94歳~**  
定期的な点検と補修により今も健全です

多くの車が利用  
3万2千台/日(27.10%)

大正13年(1924年)竣工  
石川県 金沢市

1937 定期点検

1950 補修工事予定  
設計・監理・監工、監修

M28 石川県  
道路メンテナンス会議

**登録有形文化財 犀川大橋**

**犀川大橋の歴史**

**【木橋時代】**  
1594(文禄3年)→1918(大正7年)  
最初の架橋は加賀藩藩主、前田利家造った木造大橋です。最下への大ききを誇り、国に架かる唯一の大橋であったことから、今と変わらぬ当時の人の交流や物流が盛んでした。明治維新以後も洪水やはんらんにより度々流出し、明治31年(1898)に木造橋最後の架け替えが行われました。

**【鉄筋コンクリート橋時代】**  
1919(大正8年)→1922(大正11年)  
市電敷設のためそれまでの木造橋を取り壊し、鉄筋コンクリート製の永久橋に変わりました。フランス・アンベック式で鉄筋は一部米国製を使ったりと、駆車さが自慢の橋でしたが、大正11年8月、金沢西線所(現気象台)開設以来の集中豪雨により崩壊し、3年間の短命に終わりました。

**【鉄橋時代】**  
1923(大正12年)→1993(平成5年)  
現在見られるトラス式の鉄橋は、鋼材を組み合わせた造形が「男川」と呼ばれる犀川にふさわしく、男性的な力強さを感じさせます。設計は日本橋梁技術の先駆者である間嶋茂樹が手掛け、英国製の鋼材も使用されました。80年近く経った今も約3万台/日を越える交通量に耐えています。

**【現代】**  
1994(平成6年)→現在  
平成6年(1994)の改修工事で、青色系統のグラデーションが施されました。歩道にはベンチやバルコニー的空間、レトロ調の照明が設けられ、高欄は金沢市産の産出する長柄格子がイメージされています。伝統を重んじながらも現代感覚を取り入れた橋は金沢の街並みにしっくりとなじみ、国の登録有形文化財の指定を受けました。

**■色彩の查選**

1 1924(大正13)：完成  
文獻では「ネズミ色」と記載(写真①)

2 1966(昭和41年)  
薄いカーキ色(写真②)

3 1975(昭和50年)  
白系クリーム色(写真③)

4 1984(昭和59年)  
黄緑色(写真④)

5 1993(平成6年)  
青灰色系グラデーション(写真⑤)

6 2009(平成21年)  
現在の塗装(写真⑥)

**犀川大橋の損傷状況 ~平成28年度点検結果~**

橋長 62.3m

野町側

片町側

橋門工の腐食

伸縮装置のがたつき

下横構の腐食

垂直材の腐食

床版の漏水・遊離石灰の発生

縦桁の腐食

横桁の腐食

格点部の腐食

床版の剥離・鉄筋露出

縦桁の腐食

**社会インフラの老朽化対策**

我が国の道路施設は、高度経済成長期に整備された施設が多く、今後急速に老朽化することが懸念されている。高速道路の天井板落下事故をはじめとして、一部の道路施設において維持管理・更新に係る問題が顕在化している。

このため、『点検』→『診断』→『記録』のメンテナンスサイクルを通じて、損傷等を速やかに把握し、予防保全対策を行うことで、道路施設の長寿命化を図る。

「老朽化する道路インフラ」と「メンテナンスサイクル」

点検 → 診断 → 記録 → 処置

人であれば「検診」、人であれば「地方」

人であれば「カルテ化」、人であれば「治療」

橋梁点検状況

トンネル点検状況

点検の記録

診断結果の判定会議

措置状況(ひびわれの補修)

**道路メンテナンス総力戦**

**高齢化が進む道路施設**

道路構造物も、時間が経つと劣化や損傷が発生します

北陸地域の橋梁における建設後50年以上の割合は、平成28年3月末時点で1.5%(国)、2.2%(自治体)ですが、20年後には5.7%(国)、7.0%(自治体)と共に約4倍に増加します。安全・安心に道路を使うため、適切に維持管理を行う必要があります。

【国(北陸地方整備局)管理の橋】 橋梁数 3,810橋

【自治体管理の橋】 橋梁数 40,561橋

【平成28年度】

【10年後】

【20年後】

約4倍に増加

**犀川大橋の補修工事概要**

**■施工内容**

装飾プレートの補修

床版の補修

伸縮装置の補修

舗装(防水)の補修

橋桁の補修

**■伸縮装置取替、舗装補修等の規制形態**

■下り1車線規制時

■上り1車線規制時

■上下1車線規制時

**■補修イメージ**

床版の補修

伸縮装置の補修

舗装(防水)の補修

**■施工STEP**

STEP1 既存伸縮装置撤去

STEP2 橋台コンクリート打設

STEP3 新伸縮装置取替

STEP4 床版打設

STEP5 伸縮装置設置

STEP6 舗装(防水)補修

皆様には規制によりご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。



聖火リレー



昭和39年10月1日

母の実家は野町にありました。道路拡張のために立ち退きとなり、アルバムが出てきた中に東京オリンピックの頃の写真がありました。聖火リレーが自宅の前を通った時の写真のようです。同じページには同日の都市河川で洗濯をする人の様子が載っていました。

提供：藤 友里

聖火リレーの日の日常



昭和39年10月1日

母の実家は野町にありました。道路拡張のために立ち退きとなり、アルバムが出てきた中に東京オリンピックの頃の写真がありました。聖火リレーが自宅の前を通った時の写真のようです。同じページには同日の都市河川で洗濯をする人の様子が載っていました。

提供：藤 友里

犀川大橋にかかわる思い出の一枚



提供：山岸 深

大和デパートから香林坊交差点魚半ビル方面



昭和8～19年頃

私の祖父（1902年～1944）がベビーコングで撮影したと思われるネガをスキャンしました。祖父は河北郡森本村宇吉原で、昭和初期に森本駅から深谷温泉行のバスを運行していました。写真が好きで、各地を回って撮ったと思われるネガの中にあっただけです。

提供：中嶋 達也

香林坊魚半ビル



昭和8～19年頃

私の祖父（1902年～1944）がベビーコングで撮影したと思われるネガをスキャンしました。祖父は河北郡森本村宇吉原で、昭和初期に森本駅から深谷温泉行のバスを運行していました。写真が好きで、各地を回って撮ったと思われるネガの中にあっただけです。

提供：中嶋 達也



提供：初道 茂樹



提供：初道 茂樹

サイガワあかりテラス



平成29年8月10日

見慣れているはずの河川敷や大橋が彩られ、とても幻想的でした。

提供：板田 拓弥

サイガワあかりテラス



平成29年8月10日

見慣れているはずの河川敷や大橋が彩られ、とても幻想的でした。

提供：板田 拓弥